

# UHF 帯 RFID ゲート

工場、店舗などの商業施設、図書館、倉庫や病院・介護施設などでの UHF 帯 RFID の利用が拡大しており、ゲートで RFID タグを読み取って通過検知を行う運用も拡大しています。

RFID ゲートは、ゲートの片側に RFID リーダ 1 台とアンテナ 2 台を、もう片側にアンテナ 2 台を装備してゲートでのタグの通過検知を行うものです。



注) 内部の構造を示すために、この写真ではフロントカバーを取り外しています。商品にはフロントカバーが付いており、内部は見えません。



## 施設別の用途例

**工場・倉庫** での運用：  
生産工程での履歴管理や物品の入出庫管理

**店舗** での運用：  
未清算の商品に付いているタグの検知

**図書館** での運用：  
貸出し処理がされていない本に付いているタグの検知

**病院・介護施設** での運用：  
患者や入所者、医療機器などの通過検知

## 構成

- ① RFID ゲート本体 : 1 対 (2 台)
- ② UHF 帯 RFID リーダ : 1 台 (Impinj Speedway R420)
- ③ RFID アンテナ : 4 台 (Times-7 A5010)
- ④ アンテナケーブル : 4 本
- ⑤ オプション : GPIO Box、通過センサ、パトライト

※ 部品単位での提供も行います。

## 仕様

寸法	500mm (幅) × 500mm (奥行) × 1410mm (全高)
重量	22.5kg (ゲート本体・1 台の重量)
移動	キャスター (固定ロック付き)
自立安定性	前後左右に 15 度傾けても転倒しない

注) タグの読取りは使用するタグの性能に依存し、読取性能を保証するものではありません。